

**輸出事業計画****※申請者名：まるっと沖縄輸出推進協議会、****品目：パインアップル、その他の野菜・果実、水産物（海ぶどう、モズク等）、  
農産加工品、加工食品等****1. 輸出における現状と課題****【現状（背景）】**

沖縄県はアジアの中心に位置し、地理的優位性を持つ産地である。また、亜熱帯の気候を活かし、他府県の端境期における農産物生産や国内生産量トップの品目でもあるパインアップル・マンゴー等の生産を行うことができ、水産物においてもモズクや海ぶどうなど国内トップの生産量を誇る水産物がある。アジア諸国への輸出において有利な地理であるため首都圏への出荷だけに留まらず、積極的に海外輸出にも取り組むことで生産者の安定収益を目指していきたいと考えている。

しかしながら、県内の多くの出荷生産者や組合、事業者毎に規格・等級が異なり、これにより、販売時における混乱を招いている。また、多くの出荷生産者や組合、事業者が輸出を目指すにあたり、輸出先国の求める農薬規制・衛生管理・適合規格や表示、輸出手続き等のノウハウが不足しており、これまで事業者にとって輸出のハードルが高く、困難なものとの認識がされてきた。このような課題を解決するため、県内の農水産業関連事業者と県外有識者、輸出専門家とのネットワークを構築し、輸出に向けた生産体制と沖縄国際物流ハブを有意義に活用し、輸出拡大の加速に繋げたい。

**【これまでの輸出の取組】**

かねてより取引のある企業との連携により、令和5年7月にイオンマレーシアで沖縄フェアを実施した。当フェアにおける輸出に関わる実務経験を踏まえ、マレーシアから更に輸出対象国を拡大し、沖縄県の産業活性に繋げていきたいと考えている。また、他海外市場への輸出拡大を見据え沖縄県内外にて商談等を実施し、海外市場への販路拡大に継続的に取り組んでいる。

**※課題※****（1）マレーシア****①課題****【生産（製造）】****「パインアップル、その他の野菜・果実について」**

・生産者の高齢化が進んでいることもあり、生産の維持継続が課題。また、品種ごとの特性を活かした強みがある中、品種ごとの反収の違いから「ピーチパイン」などの栽培面積は年々減少傾向にある。

**「水産物（海ぶどう、モズク等）、農産加工品、加工食品等について」**

・ターゲット国が好む商品規格、サイズ、パッケージの検証を実施するためには既存の限定された製造ラインではターゲット国の嗜好に合わせた食味調整、輸出先国の消費者が好む商品規格、サイズ、パッケージの変更が容易でない。  
・沖縄県内で水揚げ、養殖される生鮮魚の輸出拡大に向け、現地ニーズに合わせた魚食の提案、検証が必要。

**【加工】****「パインアップル、その他の野菜・果実について」**

・パインアップルの輸入規制であり、また品種流出防止のための商品加工技術「冠芽除去」を実施する加工ラインがない。

**「水産物（海ぶどう、モズク等）、農産加工品、加工食品等について」**

・輸出時、各社での各種加工品に原材料ラベルを貼付け実施を行う仕組みが整っていない。  
・食品添加物の輸入規制となっているもの（クチナシ、紅麴など）を使用している食品も多い。

**【物流】****「パインアップル、その他の野菜・果実について」**

・令和5年度の輸出時に海外経由で航空輸送した際に一部で品質低下がみられた。要因として輸送時の気温の変化による結露が考えられる。

**「水産物（海ぶどう、モズク等）、農産加工品、加工食品等について」**

・令和5年度の輸出時に鮮魚を航空輸送した際、保冷剤が不足していたため追加を実施した。また、加工品の一部で包材（段ボール）につぶれが発生した。

**【販売】****「パインアップル、その他の野菜・果実について」**

・現地では高単価商品は家族、友人へのお土産として需要があり、購入時に容易に持ち運びができる状態での商品化希望があった（手提げ袋に入れるなど）。  
・マレーシア国内で日本品種の農作物を栽培し、販売している事業者も多く、継続販売ができる作物は限られている。  
・現地商品には他産地国からの日本産と類似する商品も多い（例：韓国産シャインマスカット、中国産りんごなど）ため、差別化が必要。

**「水産物（海ぶどう、モズク等）、農産加工品、加工食品等について」**

・現地にない食文化も多く、商品特性を消費者に伝えることが難しい。  
・輸送コストを鑑みた販売価格の設定から内容量が多い商品は価格が高単価となるため販売が難しい。

**輸出事業計画****※申請者名：まるっと沖縄輸出推進協議会、****品目：パインアップル、その他の野菜・果実、水産物（海ぶどう、モズク等）、  
農産加工品、加工食品等****2. 輸出事業計画の取組内容****②課題解決に向けた取り組み内容**

令和5年度はマレーシアの現地協力会社に対してヒアリングを行うとともに、現地を訪問し市場調査を行った。令和5年7月17日（月）～令和5年8月2日（水）の17日間 イオンマレーシアの店舗内にて沖縄フェアを実施。実際に販売した結果、新たな課題も確認できた。それらをふまえ各課題の解決に向け、具体的に下記2つを令和6年度の取組活動内容とし「生産（製造）」「加工」「物流」「販売」に各課題の解決に向けた活動を実行する。

**【具体的な取り組み】**

- ・継続したマーケット調査を進める。
- ・協議会新規会員募集とともに取扱品目を拡大する。

**【生産（製造）】****「パインアップル、その他の野菜・果実について」**

- ・品種（例：ピーチパイン）によっては沖縄県内の生産量は減少している状況ではあるが、まるっと沖縄輸出推進協議会員にて生産者を組織化し生産量を確保する。また、販路拡大を重ねて実施することで生産した作物が適正な価格で販売できる環境を整える。

**「水産物（海ぶどう、モズク等）、農産加工品、加工食品等について」**

- ・令和6年度からまるっと沖縄輸出推進協議会での検討会にて輸出国におけるニーズや嗜好を議題にあげ製造ラインの確保を促し、製造ライン拡大、新商品の開発（輸先国の志向に合わせた食味調整）につなげる。
- ・健康食が好まれるニーズに合わせて魚食の提案、鮮魚（マグロなど）の解体ショーを継続実施し、生鮮魚の輸出拡大への検証を行う。

**【加工】****「パインアップル、その他の野菜・果実について」**

- ・令和5年度からまるっと沖縄輸出推進協議会員の有する加工所にて輸入規制であり、また品種流出防止のための商品加工技術である「冠芽除去」の加工ラインの導入を実施。また、パインアップル品種流出防止のための商品加工技術調査を継続して行う。

**「水産物（海ぶどう、モズク等）、農産加工品、加工食品等について」**

- ・まるっと沖縄輸出推進協議会員の有する加工所にて原材料ラベル貼り付けの加工ラインの導入を実施する。
- ・令和5年度は輸入規制となっているもの食品添加物（クチナシ、紅麴など）の周知を協議会内で行った。令和6年度では協議会新規会員募集を推進する中で継続した周知徹底を重ねて、新たな商品開発時に輸入規制の食品添加物を使用することがないように周知を行う。また、ターゲット国のニーズや規制にあわせた商品加工の仕組みを構築する。

**【物流】****「パインアップル、その他の野菜・果実について」**

- ・令和6年度から航空輸送実施時、輸送品目ごとに海外経由便（加工品中心）、国内経由便（生鮮物中心）に物流ルートを設定。（理由：令和5年度の実績から国内経由便は温度変化、荷物の管理状態が確認でき安定した温度帯で輸送ができることが確認できたため。）また、物流にあわせた梱包方法を構築する。

**「水産物（海ぶどう、モズク等）、農産加工品、加工食品等について」**

- ・令和5年度の実績から航空輸送でのマレーシア到着（流通経路：沖縄ヤマトのサザンゲートに集約→成田経由→マレーシア→販売店）までの所要時間が約80時間と確認がとれた。令和6年度実証実験を実施し、輸送時の梱包材内に入れる保冷剤の量の設定を目指す。また、加工品の包材（段ボール）のくずれを防ぐために令和6年度からパレタイズの実施、荷崩れ防止（ラップ等での固定）での出荷を実施するとともに、物流にあわせた梱包方法を構築する。

**輸出事業計画****※申請者名：まるっと沖縄輸出推進協議会、****品目：パインアップル、その他の野菜・果実、水産物（海ぶどう、モズク等）、  
農産加工品、加工食品等****2. 輸出事業計画の取組内容****【販売】**

「パインアップル、その他の野菜・果実について」

- ・高単価商品はあらかじめ手提げのできる包材に入れた状態で出荷を調整する。
- ・令和5年度の現地調査の結果をもとに、マレーシアの消費者が好む商品規格、サイズ、パッケージを検証し、現地で生産している商品群以外での商品提案。または同一品目でも特殊性（味、規格等に違いのある）のある商品、販売規格（バラ販売や個包装）で提案する。
- ・協議会ロゴを作成し、日本産ということが容易にわかるようにするとともに、協議会で取扱う商品には協議会の販促物（POPやシール）を作成し掲示する。また、令和6年度から品種ごとの周知HPを通した商品、産地動画の配信などを実施し、ターゲット国へのよりよい提案につなげていく。

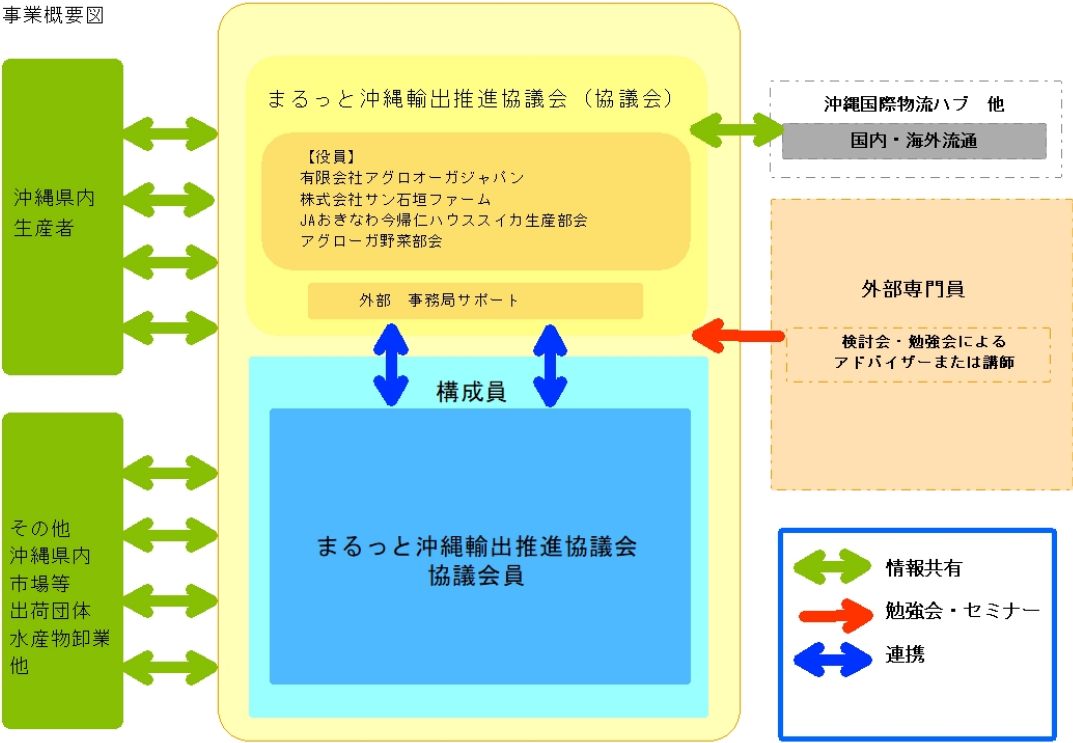
「水産物（海ぶどう、モズク等）、農産加工品、加工食品等について」

- ・令和6年度、まるっと沖縄輸出推進協議会員にてマレーシア用の販促物の作成や協議会周知ホームページの作成を通して商品の特性（現地の健康食を好むニーズにあわせた商品説明）や食べ方などを提案できるページの作成を実施する。また、協議会で取扱いする商品には協議会の販促物（POPやシール）を作成し掲示する。生食だけでなく煮つけや焼き魚での料理提案を実施し消費拡大を目指す。（例：個包装用のバーコードの発行など）。
- ・まるっと沖縄輸出推進協議会での検討会を通じて個包装、バラ売りでの販売ができる仕組みを販売者と協議し構築する。

輸出事業計画

※申請者名：まるっと沖縄輸出推進協議会、  
品目：パインアップル、その他の野菜・果実、水産物（海ぶどう、モズク等）、  
農産加工品、加工食品等

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

| 輸出する農林水産物・食品の現状及び目標<br>(輸出品目：パインアップル) |         | 現状<br>(令和5年度) | 目標年<br>(令和7年度)                        | 備考 |
|---------------------------------------|---------|---------------|---------------------------------------|----|
| 県内全域                                  | 輸出額(千円) | 611           | 1,831                                 |    |
|                                       | 輸出量(kg) | 765           | 2,295                                 |    |
|                                       | 輸出先国    | マレーシア         | マレーシア、カンボジア、ベトナム、香港、シンガポール、ヨーロッパ、北米、等 |    |
|                                       | 取扱量(kg) | 183,993       | 202,095                               |    |

輸出事業計画  
※申請者名：まるっと沖縄輸出推進協議会、  
品目：パインアップル、その他の野菜・果実、水産物（海ぶどう、モズク等）、  
農産加工品、加工食品等

4. 輸出目標額

| (輸出品目:その他の野菜・果実)       |         | 現状<br>(令和5年度) | 目標年<br>(令和7年度)                        | 備考 |
|------------------------|---------|---------------|---------------------------------------|----|
| 県内全域                   | 輸出額(千円) | 247           | 1,235                                 |    |
|                        | 輸出量(kg) | 290           | 1,450                                 |    |
|                        | 輸出先国    | マレーシア         | マレーシア、カンボジア、ベトナム、香港、シンガポール、ヨーロッパ、北米、等 |    |
|                        | 取扱量(kg) | 193,000       | 212,300                               |    |
| (輸出品目:水産物(海ぶどう、モズク、等)) |         | 現状<br>(令和5年度) | 目標年<br>(令和7年度)                        | 備考 |
| 県内全域                   | 輸出額(千円) | 253           | 2,022                                 |    |
|                        | 輸出量(kg) | 169           | 1,352                                 |    |
|                        | 輸出先国    | マレーシア         | マレーシア、カンボジア、ベトナム、香港、シンガポール、ヨーロッパ、北米、等 |    |
|                        | 取扱量(kg) | 169           | 1,352                                 |    |
| (輸出品目:農産加工品、加工食品、等)    |         | 現状<br>(令和5年度) | 目標年<br>(令和7年度)                        | 備考 |
| 県内全域                   | 輸出額(千円) | 3,607         | 6,132                                 |    |
|                        | 輸出量(kg) | 2,797         | 4,754                                 |    |
|                        | 輸出先国    | マレーシア         | マレーシア、カンボジア、ベトナム、香港、シンガポール、ヨーロッパ、北米、等 |    |
|                        | 取扱量(kg) | 2,797         | 4,754                                 |    |